



「芸術の秋にふれる!!」平成22年度せたな町民文化祭開催

今年度の町民文化祭がせたな町内各区において盛大に開催されました。

「作品展示の部」では、個性あふれるアイデア作品や工夫を凝らした作品など、芸術の秋にふさわしい数多くの様々な作品が展覧されました。

また、「芸能発表の部」では、小中学生、高校生、文化団体やサークルの方々が出演し、合唱や器楽演奏、郷土芸能や日本舞踊、ダンスなどが披露され、日頃の練習の成果を思う存分発揮していました。

■作品展示の部

大成会場 [大成町民センター]
10月30日(土)～11月1日(月)
出品点数858点／鑑賞者約300名



瀬棚会場 [B & G海洋センター体育館]
10月30日(土)～11月1日(月)
出品点数1,054点／鑑賞者約500名



北檜山会場 [ふれあいプラザ]
10月30日(土)～10月31日(日)
出品点数594点／鑑賞者約300名



■芸能発表の部

大成会場 [大成町民センター]
11月6日(土)
出演9団体／鑑賞者約300名



瀬棚会場 [瀬棚町民センター]
11月7日(日)
出演7団体／鑑賞者約250名



北檜山会場 [ふれあいプラザ]
11月14日(日)
出演17団体／鑑賞者約300名



▼「新年を寿ぐ(ことほぐ)」。
「寿ぐ」は「言祝ぐ」とも書くように、感謝と希望の言葉を家族に伝えながら、元旦を迎えるのも、また良きことかな。

▼初日の出、初詣、門松飾り、若水迎え、おとそ、お年玉、雑煮、おせち料理、初夢、書き初め、凧揚げ、羽根つき、七草がゆ、どんど焼き(左義長、鏡開き、小正月、数入り...)などである。少々残念なことに、現在、多くの伝統的な習慣が消えかけようとしているが、親から子へと受け継がれる「我が家の正月」の記憶は残してやりたいものである。

▼日本人は、一年の節目としての正月をこのほか大切にしてきた。それは、正月には「年神様」(正月様、歳徳神とも)という新年の神様が各家庭に降りてくると考えられていたからである。そのため、ケ(藝)の普段着からハレ(晴れ)の日の服装(晴れ着)にあられたため、年神様からその年の幸運を授けてもらうなどの習慣が定着していった。

▼今年一年の締めくくりは、家中の大掃除の後、しめ飾りや鏡餅などで新年を迎える準備をしたい。そして、大晦日には、年越しそばを食べながら、除夜の鐘に行く年をふり返り、来る正月を心待ちにしたものである。

▼暦の日めくりも残り少なくなってきた。皆さんにとって、2010年(平成22年)は、どんな一年だったろうか。
いっの一番に思い浮かぶのは、うだるような夏の猛暑と、真駒内川の氾濫をもたらした何十年かに一度のゲリラ豪雨か。来年は卯年。多くは望まないが、町民の皆さんが穏やかに暮らせる一年であってほしいと願う。





B&G瀬棚海洋クラブが優良海洋クラブ表彰受賞！



10月25日（月）・26日（火）、北海道上川郡の東神楽町で開催された「平成22年度海洋センター・海洋クラブ責任者会議～北海道ブロック～」において、B & G瀬棚海洋クラブ（代表 桂田富次さん）がB & G財団から海洋クラブ表彰を受けました。

この海洋クラブ表彰は、全国で活動する277のB & G海洋クラブの中から特に活発な活動を行った海洋クラブに対して行われるもので、B & G瀬棚海洋クラブは、プールでOPヨットやマリンスポーツ体験教室を実施するなど活発な活動が評価されての受賞になりました。

子どもチャレンジ祭り「体力・運動能力テスト」開催



10月11日（月：祝日）、せたな町民体育館において「体力・運動能力テスト」が開催されました。本事業は、せたな町体育指導委員の会が主催し行われたもので、3区から約100名の小学生が参加しました。

子ども達は8班に分かれ、普段あまり話しをする機会が少ない3区の違う学校の子供達が記録を比べたり、話しをしたり、様々な種目を楽しみながら測定していました。

なお、この事業は今後も継続して行われる予定です。



新体力テスト実施要項を参考に体力測定を実施（6種目）

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび
- ⑤20mシャトルラン（往復持久走） ⑥立ち幅とび

高齢者大学修学旅行「函館・七飯探訪」



10月18日（月）、19日（火）函館市・七飯町を研修地として1泊2日の日程で実施され、北檜山いきがい学園、大成くおん大学、瀬棚寿大学の学生58名が参加しました。

函館五稜郭エリアでは、140年ぶりに復元された函館奉行所や五稜郭のシンボルであるタワーの見学、元町エリアでは、歴史ある函館公会堂やイギリス領事館、赤レンガ倉庫群などを見学し、函館市の歴史や歩みを学びながら新たな発見と社会的視野を広げることができました。

また、この2日間で3区の学生それぞれの交流が深まり、より一層の触れ合いの輪を広げながら、いい仲間・いい思い出を作ることができました。